

おいかわ

1月号

令和7年 1月 8日発行
文責 校長 前田 敬

明けましておめでとうございます

15日間の冬休みが終わり、子ども達の明るく元気な声が学校に戻ってきました。冬休み中、大きな事故や病気に遭うことなく、元気に過ごすことができたことを大変嬉しく思います。保護者の皆様には、お子さんの健康や安全にご配慮いただきありがとうございました。

また、たくさんの学習用具や冬休みの宿題を抱え、「おはようございます。」「おめでとうございます。」「おめでとうございます。」と元気に教室に入る子ども達からは、新学期を迎えることへの期待と意欲が感じられました。この子ども達の意気込みに負けないように、教職員一同、気を引き締めて今学期も頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、第3学期は授業日がわずか49日しかなく、1年間で最も短い学期となります。この間に、鼓笛引き継ぎ式、豆まき集会、スキー教室、6年生を送る会、その他卒業や進級に向けた取組など、大事な行事や活動がたくさんあります。一日も早く冬休み気分を解消し、いつもの生活リズムに戻れるように、今学期もご家庭での規則正しい生活や体調管理などをよろしくお願いいたします。

本年も皆様にとって良い年でありますように心よりお祈り申し上げます。

第2学期終業式

12月23日(月)の終業式では、校長式辞に引き続き、3名の児童から「2学期の反省と冬休みの抱負」の発表がありましたので、簡単に紹介します。



1年の田部純菜さんは、2学期頑張ったこととしてマラソン記録会を挙げ、4位になって嬉しかったことや来年は1位を取りたいと意気込みを話しました。しっかりと次の目標をもつことができ大変立派ですね。そして、冬休みにやってみたいこととして、スキーの練習をすること、家族と楽しく過ごすこと、宿題を頑張ることを話しました。

3年の大塚裕風さんは、2学期頑張ったこととして、書写とサツマイモ掘りを挙げ、上手に書けるようになったことや傷つけないように掘ったことを話しました。そして、3学期頑張りたいこととして、算数の問題を早く解いたり、考えを説明したりできるようにになりたいと抱負を述べました。しっかりと自分自身を見つめ直し、努力を惜しまない姿勢が感じられました。冬休みは書き初めに挑戦し、納得できる作品を仕上げたいと話しました。



5年の渡部洸聖さんは、2学期を振り返り、来年の学習発表会では最上級生として頑張りたいこと、これからも朝のマラソンや縄跳びに継続して取り組み、体力づくりに励みたいことを話しました。そして、冬休みの抱負として、これまでの学習の復習を挙げ、宿題は1日3ページ、自主学習はドリル学習を行うなど具体的な計画を話しました。さすがは5年生ですね。自分で考えて実行しようとする力がしっかりと身に付いてきているようです。